

科 目		必・選	担 当 教 員		学年・学科			単位数	授 業 形 態				
有機化学 (Organic Chemistry)		必	高木浩一		3 年生 物質工学科			2	通年 週 2 時間				
授業概要		不飽和炭化水素・ハロゲン化アルキル・芳香族化合物・アルコール関連化合物について学習する。											
到達目標		不飽和炭化水素・芳香族化合物・ハロゲン化アルキル・アルコール関連化合物について、 1. 基本的な化合物の命名法と構造を理解する。 2. 代表的な合成法を理解する。 3. 特徴的な反応を理解し、その反応機構を説明できる。											
評価方法		定期試験 70%，小テストおよび課題レポート 30% で評価する。											
教科書等		教科書：マクマリー「有機化学概説」（東京化学同人） 参考書：ボルハルト・ショアー「現代有機化学(上)(下)」（化学同人） 問題集：山本「有機化学演習」（東京化学同人）											
内 容										学習・教育目標			
第 1 週	不飽和炭化水素	アルケンの命名法と構造								C-1			
第 2 週		有機反応の種類								C-1			
第 3 週		有機反応の機構								C-1			
第 4 週		アルケンへの付加								C-1			
第 5 週		アルケンの酸化								C-1			
第 6 週		共役ジエン								C-1			
第 7 週		アルキン								C-1			
第 8 週	芳香族化合物	芳香族化合物の命名法と構造								[中間試験]	C-1		
第 9 週		求電子置換反応の機構								C-1			
第 10 週		求電子置換反応の種類								C-1			
第 11 週		求電子置換の置換基効果								C-1			
第 12 週		求電子置換の配向性								C-1			
第 13 週		芳香族化合物の酸化と還元								C-1			
第 14 週	立体化学	立体異性体								C-1			
第 15 週		光学活性，立体配置の表記								[期末試験]	C-1		
第 16 週		ジアステレオマー								C-1			
第 17 週	ハロゲン化アルキル	ハロゲン化アルキルの命名法								C-1			
第 18 週		ハロゲン化アルキルの製法								C-1			
第 19 週		求核置換反応 (S _N 2 反応)								C-1			
第 20 週		求核置換反応 (S _N 1 反応)								C-1			
第 21 週		脱離反応 (E2 反応)								C-1			
第 22 週		脱離反応 (E1 反応)								C-1			
第 23 週		有機化学における酸化と還元								[中間試験]	C-1		
第 24 週	アルコール，フェノール，	アルコール，フェノールおよびエーテルの命名法								C-1			
第 25 週	およびエーテル	アルコール，フェノールおよびエーテルの物性								C-1			
第 26 週		アルコールの合成と反応								C-1			
第 27 週		フェノールの合成と反応								C-1			
第 28 週		エーテルの合成と反応								C-1			
第 29 週		エポキシド								C-1			
第 30 週		チオールとスルフィド								[期末試験]	C-1		
(特記事項)			JABEE との 関 連										
			JABEE	a	b	c	d1	d2a) d)	d2b) c)	e	f	g	h
			本校の学習	A	A	C-1	C-1	C-2	B	B	D	C-3	B
			・教育目標			◎							

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。（【例】年4回定期試験を実施した場合の各定期試験の評価配分は、特に記載の無いものは、25%ずつとなります。）

有機化学（第3学年）

【授業概要と学習方法】

2学年で学習した有機化学の知識(混成軌道, 極性共有結合, 官能基, 飽和炭化水素など)を基にして, 4つの化合物群(不飽和炭化水素・芳香族化合物・ハロゲン化アルキル・アルコール関連化合物)の命名法, 構造, 物性, 合成法, 特徴的な反応, および立体化学について学習する。

授業中は教員の説明を理解するように努めるとともに板書と口頭説明をノートにまとめる。授業中に配布される演習問題および教科書・参考書の練習問題を解いて理解を深める。長期休暇時などに課されるレポート課題を提出する。授業内容や演習問題で理解できない部分があれば教員に質問して早期に解決する。

【各週の内容】

第1～7週: 不飽和炭化水素

- 第 1週 アルケンの命名法, 二重結合の構造, シス・トランス異性, E,Z命名法, 置換基の順位則
- 第 2週 有機反応の種類(付加・脱離・置換・転位, 極性反応・ラジカル反応)
- 第 3週 有機反応の機構, 反応エネルギー図(遷移状態, 活性化エネルギー, 中間体, 触媒)
- 第 4週 アルケンへの付加反応(ハロゲン化水素化, 水和, ハロゲン化), カルボカチオン, マルコフニコフ則
- 第 5週 アルケンの水素化, ヒドロキシ化と開裂, ポリマー
- 第 6週 共役ジエン, 1,4-付加反応, アリル型カルボカチオン, 共役および共鳴の概念
- 第 7週 アルキンの命名法, 三重結合の構造, アルキンへの付加反応, アセチリドアニオン

第8～12週: 芳香族化合物

- 第 8週 芳香族化合物の構造(ケクレの説, 共鳴説), 命名法
- 第 9週 求電子置換反応の機構
- 第10週 種々の求電子置換反応(ハロゲン化, ニトロ化, スルホン化, Friedel-Crafts反応)
- 第11週 求電子置換の置換基効果(反応性)
- 第12週 求電子置換の置換基効果(配向性)
- 第13週 芳香族化合物の酸化と還元, 芳香族性

第14～16週: 立体化学

- 第14週 キラル, 鏡像異性体, 立体中心
- 第15週 光学活性, 立体配置の表示(R, S),
- 第16週 ジアステレオマー, メソ化合物, キラルな環境

第17～23週: ハロゲン化アルキル

- 第17週 ハロゲン化アルキルの命名法
- 第18週 ハロゲン化アルキルの製法
- 第19週 求核置換反応(S_N2 反応)の機構, 求核試薬, Walden反転
- 第20週 求核置換反応(S_N1 反応)の機構, 脱離基, ラセミ化
- 第21週 脱離反応($E2$ 反応)の機構, ザイツェフ則
- 第22週 脱離反応($E1$ 反応)の機構
- 第23週 有機化学における酸化と還元

第24～30週: アルコール, フェノール, エーテル

- 第24週 アルコール, フェノール, エーテルの命名法
- 第25週 アルコール, フェノール, エーテルの物性(水素結合, 酸性度)
- 第26週 アルコールの合成(付加, 還元), 反応(脱水, 酸化, エーテルへの変換)
- 第27週 フェノールの合成, 反応(求電子置換反応, エーテルへの変換, キノンへの酸化)
- 第28週 エーテルの合成, 反応(酸開裂)
- 第29週 環状エーテル, エポキシドの合成と反応
- 第30週 チオールおよびスルフィドの合成と反応